

2020年の主な天文現象

月	時期	現象
1月	4日(土)	しぶんぎ座流星群(下弦の月で条件良好)
	21日(火)	早朝の西の空で月と火星が大接近
2月	中~下旬	早朝の西の空で月と火星が大接近
	中旬	早朝の東南の空で火星が天の川の干潟星雲・三裂星雲と大接近
	20日(木)	早朝の東の空で月と木星が大接近
3月	20日(金)	春分、早朝の東の空で火星と木星の大接近、夕方の西の空で金星と天王星の接近
4月	上旬	早朝の東の空で火星と土星が大接近、夕方の西の空で金星とスバルが大接近
	8日(水)	今年最大の満月
	28(火)	夕方の西の空で金星が最大光度(-4.5等)
5月	中旬	パンスターズ彗星(2017_T2)が6等級の予想
	22-24日	夕方の西の空で金星と水星が大接近
6月	中旬	早朝の東の空で火星と海王星が大接近
	21日(日)	夕方の西の空で部分日食(台湾中国で金環日食)
7月	中旬	早朝の東の空で金星とおうし座のアルデバランが大接近
	12日(日)	早朝の東の空で金星とおうし座のヒアデス星団が接近
	14日(火)	いて座で木星が衝(-2.8等)
	23日(木)	いて座で土星が衝(0.2等)
8月	9日(日)	月と火星が接近
	12-13日	ペルセウス座流星群が極大、下弦の月で観測条件良好
9月	期間中	宵の南の空で火星、木星、土星が見頃
	5-6日	月と火星が並ぶ
	中旬	早朝の東の空で金星とかに座のプレセペ星団が接近
10月	下旬	夕方の西の空で彗星とおとめ座のスピカが大接近
	上旬	早朝の東の空で金星としし座のレグルスが大接近
	6日(火)	火星が地球最接近(-2.6等)
11月	21日頃	オリオン座流星群が極大の頃(三日月で条件良好)
12月	18日(水)	しし座流星群が極大の頃
		「はやぶさ2」が地球帰還予定
	13日(日)	早朝の東の空で金星と細い月(月齢26)が大接近
	14-15日	ふたご座流星群が極大(新月で条件良好)
	下旬	夕方の西の空で木星と土星が大接近